

県本部通信Monthly Zen-noh Gunma







JA全農ぐんま 花木流通センター フラワーセンター ダリア





Contents

事業のうごき

インフォメーション

農業チャレンジャー

JAピックアップ!

アートクッキング

花木流通センター便り





事業のうごき

畜産農産部

●酪農畜産課

- ○生乳の計画生産の推進
- ○初妊牛導入推進
- ○素牛導入推進
- ○種豚導入推進

○米麦特産課

- ○令和6年產大豆集荷推進
- ○令和7年産民間流通麦播種前契約面積作付推進
- ○こんにゃく生玉集荷・販売推進

(取扱期間10月21日~12月13日)

○こんにゃく製品セット冬季特別推進

(11月~12月)

園芸部

●園芸販売課

○共計ホウレンソウ販売 (周年)

○共計チンゲンサイ販売 (周年)

○共計味ニラ販売 (周年)

○共計県統一規格露地ナス販売 (11月末日迄)

○共計干大根販売 (12月中旬迄)

○共計県統一規格キュウリ抑制販売 (12月末日迄)

○共計下仁田ネギ販売 (1月末日迄)

〇共計上州ネギ販売 (2月末日迄)

○共計春菊販売 (3月上旬迄)

○共計土ネギ販売 (3月中旬迄)

●園芸総合対策課

- ○JA野菜振興計画の目標達成に向けた取組支援
- ○農産物の安全・安心確保対策
- ○GAP取組支援
- ○園芸事業基盤再構築に向けた取組

○園芸資材課

○冬用野菜出荷資材予約・当用推進

(段ボール・パック・フィルム・果実用資材他)

○温床資材予約推進(農ポリ・トンネル資材・

カーテン資材・こんにゃくマルチ他)

○春まき用野菜種子推進

(ほうれん草・ねぎ・きゅうり他)

○種馬鈴薯予約注文とりまとめ

生産資材部

●肥料農薬課

- ○セルフブレンド推進
- ○麦肥料農薬推進
- ○茎葉処理除草剤大型規格推進
- ○バンカーシート推進

●花木流通センター

○秋のガーデンフェア 11月1日(金)~4日(月)

●担い手推進課

- ○大規模・系統未低利用生産者への推進支援
- ○JAの出向く体制強化支援

●施設住宅課

○賃貸アパート・個人住宅推進 (周年)

○カクイチ物置・広スペースハウス推進 (周年)

○住友不動産(株)「新築そっくりさん」推進 (周年)

生活燃料部

●生活課

○蓄電池推進 (周年)

○シロアリ防除事業推進 (周年)

○JAタウン取扱品目拡大

○仕込み味噌推進 (10月~1月)

○お歳暮商品【全農ミートフーズ他】

(11月~12月上旬)

○ペット火葬推進 (周年)

○墓石事業取扱拡大推進 (周年)

●石油課

○秋期オイルキャンペーン (9月~11月)

○秋期タイヤキャンペーン (10月~12月)

●ガス課

○ガス・でんき新規獲得推進 (4月~3月)

○給湯器燃料転換推進 (4月~3月)

○ガス器具推進 (4月~12月)

○JAでんき農畜産物プレゼントキャンペーン

(7月~2月)

○秋の厨房機器推進 (10月~12月)

インフォメーション | Information |

群馬県出身のインフルエンサーと 県産キュウリをPR



9月13日(金)、園芸販売課とJA邑楽館林は館林市で、群馬県出身のTiktokerバヤシさんとコラボし、県産キュウリのPR動画を撮影しました。バヤシさんは「ASMR」と呼ばれる色彩や食感を表現する音により視聴覚に訴える動画を制作しSNSに投稿しています。撮影の際には、管内キュウリ生産者の車崎さんの協力のもと、キュウリのおススメアレンジレシピを紹介する動画撮影が行われました。撮影された動画は10月よりバヤシさんのTiktok・YouTube・Instagramで公開されています。

令和6年度園芸担当初任者研修会



9月19日(木)、園芸販売課は令和6年度園芸担当初任者研修会をJAビルおよび青果物一次加工センターで実施し、県内JAの園芸販売部門初任者17人が出席しました。座学では青果物の生産出荷概要や流通関係法令、国際水準GAPについての取り組みについて説明された他、JA前橋市の蛭川販売部長による講義が行われ、JAグループ職員としての心構えについて伝えられました。この他、青果物一次加工センター視察も行われ、出席者らは青果物販売事業に関する知識を習得しました。

生活食品商談会



9月19日(木)、生活課はJAビルで「生活食品商談会」を実施し、各食品メーカー担当者によるJA直売所担当者に向けたAコープマーク品や新商品の提案が行われました。会場では、商品説明や試食を通して、食品関連商品のさらなる取扱い拡大が図られました。

また、新たなWEB 受発注システムの提 案も行われ、各店舗で の導入に向けた意見 交換が行われました。



JAファーマーズ高崎棟高店で 県産農畜産物フェア



9月22日(日)、県JA養豚団体連絡協議会はJAファーマーズ高崎棟高店で、来店客に向けた上州麦豚・上州和牛の試食提供を行いました。上州麦豚・上州和牛各200食の配布は、1時間程度で終了となり好評でした。今回の消費宣伝活動は、消費者への県産農畜産物のPRを目的として実施され、12月にも同様の取り組みが行われます。会場では、玉こんにゃくの試食提供なども行われ、県産農畜産物の魅力が伝えられました。

インフォメーション | Information |

第23回きのこ栽培技術研修会



9月25日(水)、群馬県きのこ振興協議会は、JAビルで「第23回きのこ栽培技術研修会」を開催し、県内きのこ生産者ら49人が出席しました。菌種メーカーを中心とした展示ブースでは菌床や発生原木の他、研究事例などが展示され、出席者らは説明を受け

ながら、最新の栽培技 術について触れました。当日は一般社団法 人きのこ研究所顧問中 澤武氏によるきのこの 栽培に関する講演会も 行われました。



収穫感謝祭2024



9月29日(日)、「JAグループ群馬収穫感謝祭2024」がJAビル大駐車場で開催されました。会場では県内JAによる旬の青果物販売や県きのこ振興協議会によるきのこ類の販売などのブースが並びました。中でも、県食肉品質向上対策協議会による上州牛や上州麦豚の試食配布のブースでは多くの人が列を作り、人気を集めました。ステージでは、キャラクターショーや八木節パフォーマンスなどが行われ、会場を盛り上げました。











群馬県食肉品 質向上対策協 質会による上 端会による表 州牛・上州麦 豚の試食提供





JAグループ野菜生産対策会議



9月30日(月)、園芸総合対策課はJAビルで「JAグループ野菜生産対策会議」を開催し、10JAの担当部課長ら27人が出席しました。会議では、21品目を対象とした野菜振興計画に基づいた各JAにおける取り組み状況や計画の共有の他、国際水準GAPの取り組みに係る報告および提案、持続可能な青果物の安心・安全に向けた取り組みの方向性について協議され、生産基盤の強化に向けた具体的な意見交換が行われました。

インフォメーション | Information |

渋川家畜市場担当者研修会



10月2日(水)、酪農畜産課は家畜改良事業団前橋 種雄牛センターで「渋川家畜市場担当者研修会」を開催し、各JAの渋川市場出荷担当者13人が参加しました。当日は、各JAの肉牛担当者のスキルアップを目的として、種雄牛の情勢についての解説や種雄牛視察の他、凍結精液生産の視察が行われました。参加者らは和牛子牛の販売成績向上のため、種雄牛の血統や個体の特色についての知識を習得しました。



群馬県が生産量シェア1 位を誇る特産のこんにゃく を詰め合わせにしました。

生芋板こんにゃくや白滝 といった定番のこんにゃく から味噌漬けこんにゃくな



ど全10品の豊富なバリエーションでお届けします。 こだわりのこんにゃくをお楽しみください。

> 11月末までぐんまのこんにゃく食べて応援企画実施中 〜送料負担なし+購入者全員に味噌だれプレゼント中〜





アクセスはこちら! https://www.ja-town.com/ shop/c/c3201







JA赤城たちばな

誠也



\ Profile /

南雲 誠也(なぐも・せいや)さん

1997年生まれ27歳

品目:繁殖和牛40~50頭
飼料作物6ha
こんにゃく芋3.2ha
稲 ······50a

趣味:映画鑑賞

ー今回の農業チャレンジャーは、JA赤城たちばな管内で繁殖和牛を飼育する南雲さんです。

一就農時期は?

7年前、農林大学校を卒業後に就農しました。叔父の営む牧場で畜産業に従事することを志し、県内の牧場で6年間研修として和牛飼育の基礎を学びました。その後、今年4月から叔父の営む牧場で繁殖和牛の飼育をしています。

一就農のきっかけは?

幼少期から車やトラクターといった乗り物が好きで、叔父の営む牧場に頻繁に足を運ぶようになりました。幼いころから牛と触れ合ってきたことから、学生の頃には自然と畜産に携わる意思を持つようになりました。

一就農されていかがでしたか?

高校・大学と農業関連の専門分野について 学び、ある程度の知識は身に着けていたもの の、実践してみると経験が浅いことを実感し ました。はじめの一年は、牛との距離の詰め 方にも苦戦しました。

- 牛と接する難しさは?

牛に警戒されずに自然に近づけるようになるまでには時間がかかりました。一頭ごとの性格やその日のコンディションを見極めながら、今では少しずつ、牛との距離を縮められるようになりました。

一工夫していることは?

牛も人間と同じで性格も体質もそれぞれなので、飼育している牛のことをよく知ることです。牛同士の相性もあり、不仲だと隣り合っている牛同士で喧嘩が始まり怪我に繋がることもります。それぞれに適した飼育環境を整え、少しでもストレスを軽減できるよう意識しています。

一心掛けていることは?

毎日の体調管理で風邪や下痢などの小さな 異変を見逃すことがないよう注意を払っていま す。時には半日のうちに重症化してしまうこと もあるため、毎日様子を見て回り早期の投薬 や治療ができるよう注意深く管理しています。

一どんな時にやりがいを感じますか?

学生時代に家畜人工授精師の資格を取得しており、繁殖管理にも携わっています。初めて親牛の種付けが成功したときはやりがいを実感しました。飼育した牛からまた子牛が誕生するサイクルを安定させ、これからもさらに生産性を高めていきたいです。

一今後の展望をお聞かせください。

叔父の築き上げてきた牧場を基礎として、 将来的には酪農の経験を持つ妻と家族経営の 牧場として継承していけたらと考えていま す。家畜人工授精師の資格も活かしながら、 増頭・拡充に取り組んでいきたいです。

一志を実現し、きめ細かな飼育により日々牛 と向き合う南雲さん、今後さらなる活躍が期 待されます。

♀ JAピックアップ! ◇JAの活動をご紹介~

JAあがつま



▲ 現物を確認しながら規格を申し合わせる参加者たち

竜ヶ鼻菊生産部会 共選品目 目揃会

JA竜ヶ鼻菊生産部会は7月17日、東吾妻町植栗地区にある竜ヶ鼻花き集出荷場で、一輪ギクおよびスプレーマムの共選品目目揃会を開催しました。

当日は生産者と卸売市場、吾妻農業事務所およびJA関係者ら37人が参加し、間近に控えたお盆需要に向けて、共選品の出荷規格を確認しました。

開会にあたり挨拶を述べた米山部会長は「流通の動向をはじめ、例年と比べて気になった点等あれば是非教えてもらいたい」と市場側へ要望し、「提供された情報を活かして少しでも良いものを出していきましょう」と部会員たちに呼びかけました。

規格の申し合わせを終えた後は、ほ場に場所を移して現

地講習会が開かれました。吾妻農業事務所担い手園芸課の担当者が夏場以降の栽培管理について注意点等を説明したほか、関係者同士が活発に意見を述べ合うことで、産地強化に向けた更なる意思共有が図られました。

ヤマトイモ学習会 尾島小3年生が特産野菜を学ぶ

地元の生産者グループ「太田特産やまといもを地元から盛り上げる販売戦略検討会議」は9月10日、太田市立尾島小学校でヤマトイモ学習会を開きました。

同校の3年生82人を対象に、同会議の里見雄三会長と増田真也副会長が講師を務め、種芋を植えてから収穫するまでの過程を、写真や映像を使用して説明しました。

里見会長はすりおろしたヤマトイモとナガイモの入った 容器を用意し、箸で持ち上げ粘りを比べたり、ヤマトイモ を逆さまにしたりして粘りの強さを示すと、児童たちから 驚きの声が上がりました。

同会議では、地元野菜への理解を深め、食育の機会を提供しようと、この取り組みを平成27年から始め今年で10回目となります。同校の卒業生でもある若手農業者が丁寧に

JAにったみどり



▲ ヤマトイモの特徴について説明する里見会長

説明することで、小学生が親しみを持ち、将来へ向けて生産と消費を持続させられる一助となるよう、積極的に活動を行っています。

*ダイトル・放送内容等は 変更になることがあります。		
番組名/提供	放送日 ※再放送日	時間
実りの秋 稲刈り最盛期/JA佐波伊勢崎	11月4日(月)	PM 9:00~ 9:30
	※11月10日(日)	AM 8:00~ 8:30
楽しみ方いろいろ! 秋の味覚リンゴを堪能 / JA 利根沼田	11月11日(月)	PM 9:00~ 9:30
	※11月17日(日)	AM 8:00~ 8:30
JA年金友の会 グラウンド・ゴルフ大会 / JAバンク群馬	11月18日(月)	PM 9:00~ 9:30
	※11月24日(日)	AM 8:00~ 8:30
太陽と大地の恵みを凝縮 ―ヤマトイモー/JAにったみどり	11月25日(月)	PM 9:00~ 9:30
	※12月1日(日)	AM 8:00~ 8:30



中村 柚貴子アナ

Art Cooking

こんにゃくと大豆鶏肉のトマト煮



2人分		(1人分163kcal)
ZKバン ボく・・・	·/·/·/·/ 1,00g	イ トマトケチャップ
鶏むね肉・・・・・	·/·/·/·/50g	/////////////////////////////////////
塩.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	,.,,,,,,,,,適量	/ 醤油・・・・・・・・/小さじ/1
ゴショウ・・・・・	- , . , . , . , , , , 適量	鶏がらスープ・・・・/50cc
≯ ≯,.,,	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	//赤ワイン・・・・・/大さじれ
サラダ油・ゾ・・	・・・・・・大さじ1	人塩,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,適量
大豆水煮・・・・・	-/-/-/-/-/359	

作り方

くとんにゃくを太めのせん切りにし、お湯でかり抜きする。

- 2鶏肉を1cmの角切りにし、塩・コショウをまぶして下味をつ ける。
- 3トマトを湯むきして1cmの角切りにする。
- 4鍋にサラダ油を熱し、こんにやくを入れ中火でよく炒める。
- 5鶏肉を加え肉の色が変わるまで炒めたら、大豆を加えさら に炒める。
- 64に★の調味料を加えて味を調え、汁気がなくなるまで弱火 で煮る。



FM局等でも活躍中。

開催日

11月1日金~4日月

秋のガーデンフェア パンジー・ビオラのケース売り出し









住 所 お問合せ

前橋市亀里町1307-1 TEL 027-220-2427 FAX 027-220-2424



「**県本部通信」における個人情報の取扱いについて** 「県本部通信」に投稿いただいた方の個人情報は、プレゼントの発送やお返事、紙面での紹介に使用させていただきますのでご了承くださ い。また、これらの個人情報は前記の目的以外には使用せず、ご本人より事前に同意をいただいた場合以外には一切開示いたしません。

自由なご意見・ご感想をお寄せください。 《あて先》〒379-2147 群馬県前橋市亀里町 1310 番 JA 全農ぐんま「県本部通信」係まで E-mail: info-gunma@gm.zennoh.or.jp



